授業づくりの視点

- ・単元を通して、つけたい力(評価すること)を、言語活動を通して繰り返し指導する。
- ・活動の後に指導(フィードバックを含む)を適切に行う。(活動させっぱなしにしない)

(単元での) 学習の流れ

・考えを整理して相手に伝える活動に、複数回取り組む
(例)自分の住んでいる地域について、自分の部活動についてなど

2.学校紹介をする

・ここでは「学校紹介」をもとに例示します。「人物紹介」や「一年の思い出」など、他の単元や言語活動で応用することも可能です。
・単元の中で、言語材料を理解するための練習なども必要ですが、本事例では割愛しています。

1. 考えを整理して相手に伝える活動に、複数回取り組む

<指導のポイント>

⑦発話の型(シナリオ)や言語材料(「〇〇を使って~する」など)を明示せずに活動に取り 組ませる。

☞活動に取り組ませた後に、指導を確実に行う。(活動→指導→活動の意識) ☞指導は「内容の適切さ」と「言語使用の正確さ」の<u>両面</u>から行う。

活動→指導→活動の例

<活動例>

相手に自分の部活動のことをよりよく知ってもらえるように、自分の考えを整理して話す。

(支援例) 活動の前に、教師が使用する言語材料を用いて、ALT や生徒とやり取りをしながら 話題の導入をするなどの工夫が考えられる。

(1)1回目の活動に取り組む。



I'm a member of the brass band. I play the flute. It's a lot of fun. I practice it every day. How about you?



